

近年の国際的な知見や大規模イベント等を通じて蓄積された経験や教訓等を踏まえ、NBC災害※への対応能力を更に高度化させることを目的に、「消防機関におけるNBC災害時の対応能力の高度化に関する検討会」を開催して報告書をまとめました。

その報告内容を踏まえて、「化学災害又は生物災害時における消防機関が行う活動マニュアル」をより具体的、実戦的な内容に改正しました。

マニュアル改正の主なポイント

国際基準等を踏まえた防護措置区分等の見直し

- 国際基準等を踏まえて新規格の化学防護服をレベルA防護措置として定義し、防護措置の迅速・適切な選択判断に資するフローチャート等新規掲載
- 大規模イベント等を通じて蓄積された経験や教訓等を踏まえて、危険度に応じた活動区域の設定例を実戦的なイメージ図へ見直し

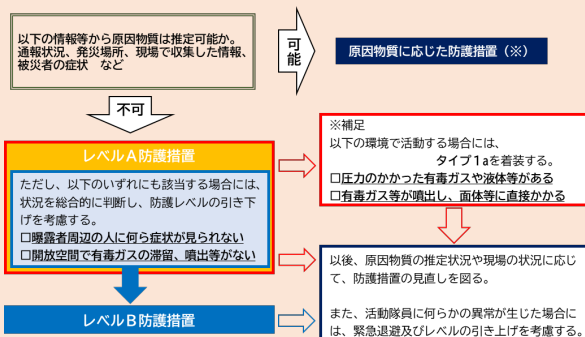


新たに追加する規格
(ISO16602 タイプ1b)

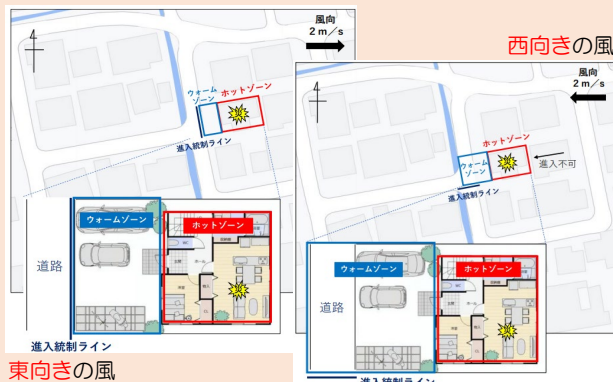


既存の規格
(ISO16602 タイプ1a)

レベルA防護措置
(最大の防護措置)



防護措置の選択判断フローチャート



活動区域設定にかかるイメージ図
(風向きに応じて変更する例)

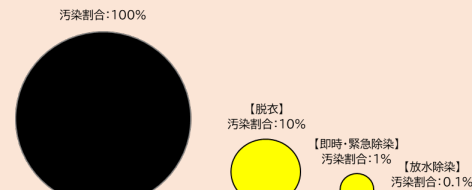
※核 (Nuclear)、生物 (Biological) 剤及び化学 (Chemical) 剤によって発生する災害

迅速かつ効果的な除染活動手順の導入

- 近年の知見を踏まえ、迅速かつ効果的な除染活動を可能とするため、除染活動手順のフローチャートを合理化
- 除染方法の適切な判断に資する目安を新たに掲載



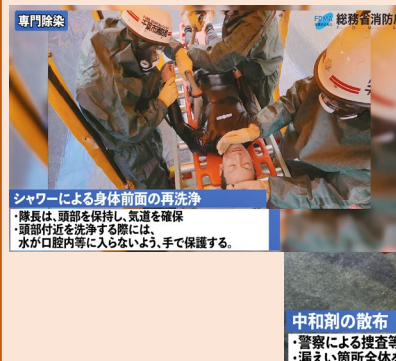
除染活動手順のフローチャート



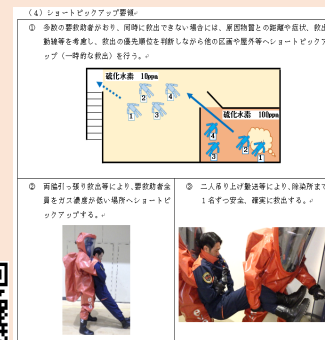
除染効果のイメージ図

動画資料等の掲載による実戦力の向上

- 実際の現場活動を意識した実戦的な活動要領を新たに動画資料等で追加
- マニュアルの理解度をより高めるため、参考資料を充実化



手順動画 (専門除染、中和剤の散布)



活動要領のイメージ図等
(救出方法例)

【参考】検討体制

NBC災害に精通した有識者や消防機関等で構成する委員に加えて、実動部隊を保有する警察庁、防衛省からもオブザーバーとして参画いただき、防護措置や除染要領等に関する国際的な動向、消防本部への実態調査等も踏まえ、令和5年度中に計4回の検討会を開催した。



< 検討会開催状況（第4回） >

検討会委員

◎：座長

| 氏名 | 所属・役職等 |
|--------|---------------------------------|
| 奥村 徹 | 法務省 大分刑務所 矯正医官 |
| 小井土 雄一 | 独立行政法人 国立病院機構 厚生労働省DMA T事務局長 |
| 小林 恭一◎ | 東京理科大学 総合研究院教授 |
| 松原 泰孝 | 陸上自衛隊 富士駐屯地 開発実験団 装備実験隊長 |
| 宮口 一 | 警察庁 科学警察研究所 法科学第三部 化学第五研究室長 |
| 上原 正彦 | 那覇市消防局 警防課長 |
| 北沢 直弘 | つくば市消防本部 消防救助課長 |
| 北山 徳久 | 千葉市消防局 警防部 警防課長 |
| 實松 孝明 | 佐賀広域消防局 副局長兼警防課長 |
| 布施 克通 | 東京消防庁 警防部 特殊災害課長 |
| 平口 隆志 | 全国消防長会 事業部 事業企画課長 |

オブザーバー

| 氏名 | 所属・役職等 |
|-------|-----------------------------------|
| 山下 大輔 | 警察庁 警備局 警備運用部 警備第三課 災害対策室 課長補佐 |
| 小原 淳志 | 陸上自衛隊 化学学校副校長 |
| 濱田 昌彦 | 元陸上自衛隊 化学学校副校長 |
| 村上 元 | 消防庁 消防・救急課 対策官 (R5.9.30まで) |
| 本島 鉄也 | 消防庁 消防・救急課 対策官 (R5.10.1から) |
| 富田 慶一 | 消防庁 国民保護・防災部 防災課 国民保護運用室 課長補佐 |
| 鳥枝 浩彰 | 消防庁 国民保護・防災部 防災課 広域応援室 理事官 |
| 伊藤 彩子 | 消防庁 消防大学校 教務部 教授 |
| 塚目 孝裕 | 消防庁 消防研究センター 火災災害調査部 原因調査室長 |

事務局

消防庁 国民保護・防災部 参事官付